

# **犬山市の歴史まちづくりの取り組み**

**平成28年3月**

**犬山市歴史まちづくり協議会**

**専門部会**

## 第1部 犬山城下町の形成過程と変化

---

### 第1章 近世の犬山城下町の形成過程

- (1) 犬山城
- (2) 城下町

### 第2章 近代・現代の犬山城下町の変化

- (1) 犬山城（明治・大正期、昭和前期、戦後～ 特に、明治維新から明治九年）
- (2) 城下町（明治・大正期、昭和前期、戦後～ 特に、明治維新から明治九年）

#### 土地利用の変容調査

##### ○明治九年の古券図のデータベース化

- ・古券図の地図のトレース（デジタル化）
- ・古券図記載情報のデータ化（地番、所有者名、面積、地目）
- ・上記情報のGIS化

##### ○古券図と絵図の重ね合わせによる江戸期における土地利用状況の把握

（武家地、町人地、農地、境内地、堀）

##### ○古券図による地目別土地利用現況図の作成

##### ○古券図と現況公図との重ね図

- ・古券図の地番（親番）と現況公図の共通親番の地区を対照させて、古券図の筆界を現況公図にプロット ⇒ 古券図の筆の分筆状況を把握

##### ○古券図と現況地形図との重ね図作成

- ・現況公図と現況地形図との重ね合わせ図（犬山市作成済み）を参考にして、古券図と現況地形図の重ね図を作成

#### 土地所有者の変遷調査

- ・登記簿、閉鎖登記簿、土地台帳による所有者履歴把握

#### 堀、道路、河川・水路等の公共施設の変遷調査

##### ○堀の現地調査

- ・堀の地番図作成 ⇒ 現況地番図との重ね合わせ ⇒ 現地で確認

##### ○道路

- ・県道、市道の整備履歴（新設、拡幅）の把握（公図で用地買収地を確認）

##### ○河川

- ・郷瀬川の整備履歴に関する資料収集（新郷瀬川の整備以前のもの）

##### ○水路

- ・現地ヒアリング、現地調査

## 第2部 全国における犬山城下町の位置づけ

城下町の歴史的特性の視点ではなく、城下町の遺構の残存状況の良好さの視点からの評価を行う。

### 第3章 全国の城下町における歴史的まちづくりと歴史的資源

天守が国宝又は重要文化財指定されている城下町、重要伝統的建造物群保存地区が指定されている城下町、国の認定を受けた歴史的風致維持向上計画を有する都市等（下記リスト参照）から10都市程度を選定し、これら城下町の特徴を調査するとともに、地区における歴史的まちづくりに対する取り組みについても把握する。

#### 【調査候補都市】

##### <天守が国宝>

「松本城」	長野県松本市	「姫路城」	兵庫県姫路市
「彦根城」	滋賀県彦根市	「松江城」	島根県松江市

##### <天守が重要文化財>

「弘前城」	青森県弘前市	「丸亀城」	香川県丸亀市
「丸岡城」	福井県坂井市	「松山城」	愛媛県松山市
「高知城」	高知県高知市	「宇和島城」	愛媛県宇和島市
「備中松山城」	岡山県高梁市		

##### <重要伝統的建造物群保存地区（前記掲載都市は除く）>

「武家町」岩手県金ヶ崎町（城内諏訪小路）	「武家町」福岡県朝倉市（秋月）
「武家町」秋田県仙北市（角館）	「武家町」長崎県雲仙市（神代小路）
「城下町」岐阜県郡上市（郡上八幡北）	「武家町」宮崎県日南市（飫肥）
「城下町」兵庫県豊岡市（出石）	「武家町」鹿児島県出水市（出水麓）
「城下町」兵庫県篠山市（篠山）	「武家町」鹿児島市薩摩川内市（入来麓）
「武家町」山口県萩市（堀内、平安古）	「武家町」鹿児島市南九州市（知覧）
「武家町」高知県安芸市（土居廓中）	

< 「歴史的風致維持向上計画」認定都市 >

青森県弘前市	長野県東御市	滋賀県長浜市	山口県萩市
宮城県多賀城市	長野県長野市	滋賀県彦根市	徳島県三好市
福島県白河市	長野県下諏訪町	京都府京都市	愛媛県大洲市
茨城県桜川市	長野県松本市	京都府宇治市	高知県佐川町
茨城県水戸市	岐阜県高山市	島根県松江市	福岡県太宰府市
群馬県甘楽町	岐阜県恵那市	島根県津和野町	佐賀県佐賀市
埼玉県川越市	岐阜県美濃市	岡山県津山市	熊本県山鹿市
神奈川県小田原市	岐阜県岐阜市	岡山県高梁市	
富山県高岡市	三重県亀山市	広島県尾道市	
石川県金沢市	三重県明和町	広島県竹原市	

#### 第4章 犬山城下町における歴史的遺構の現状

- (1) 原形をとどめている遺構等（建造物、町並み、町割り等）
- (2) 一部原形をとどめている遺構等
- (3) 滅失したもの

## 第3部 中長期方針と当面の取り組み

### 第5章 犬山城下町の再生方針

上記歴史的遺構等に対する中長期の取り組み方針

- (1) 保存の方針（現状を維持）
- (2) 復元の方針（歴史的事実に基づき復元）
- (3) 修復の方針（修理、改修して保存）
- (4) 活用の方針（復元的整備、既存施設の活用）

本章の記述に関しては、前章までの歴史的調査研究を踏まえた上で本来は記述すべきではありますが、その歴史的調査研究についてはもうしばらく時間を要する一方、早急に城下町で取り組むべき次のような具体的なまちづくり上の課題（その対応が第6章の「短期的な今後の取組」につながります）があります。

- 伝統的城下町が有する防災機能の弱さに対する対応（避難広場の確保等）
- 人口減少とそれに伴う空家・空地の発生による町の空洞化への対応  
⇒生活基盤施設（近隣公園等）の整備による居住環境の向上及び人口定着の促進
- 観光客の自動車交通増大に伴う交通環境の悪化への対応  
⇒通過交通を排除するための交通規制の強化  
⇒観光駐車場を城下町の外縁部に配置することによる観光交通の流入防止
- 歴史的風致を損なう景観阻害建築物、工作物の排除、立地抑制

等

そこで、第6章の記述に先立ち、今までの犬山城下町に関する歴史的調査研究等を踏まえて極めて概略ではありますが、城下町の再生ビジョンの「基本的方向」の骨子を以下に示します。

#### ■ 基本的方向の骨子

##### ① 城郭内

- ・犬山城下町の武家文化が集中する地区ですが、外堀の埋立て、御殿の喪失、武家屋敷の滅失と近代的建築物等の立地が進むことにより、その遺構の多くは失われています。
- ・今後は、当該地区の歴史的、文化的空間としての貴重さを認識し、**歴史的遺構の保存、活用を図ることを基本**とし、あわせて土地の公有地化を進めることが必要です。

##### ② 歴史的町並み地区

- ・城下町の町人地の歴史的風致を残す地区であり、町家の修復や道路の美装化、電線の地中化によりその風致は一層向上しました。
- ・今後は、伝統的建造物群保存地区の指定を視野に入れ、現存する歴史的建築物等の保存修復や町並みの保全、修景を一層進めるとともに、関係者の合意形成を図ることが必要です。

### ③ 総構え堀周辺地区

- ・総構え堀のほとんどは滅失しています（一部水路として残存する可能性あり）が、総構えは犬山城下町の大きな特徴ですので、その遺構や記憶を再生、保存することは必要と考えます。
- ・今後は、**総構え堀の遺構調査**を進め、その調査結果を踏まえた「保存」「復元」「修復」「活用」の方向性やその内容を決定することが必要です。

### ④ 城下町地区

- ・町割りの歴史性は留めるものの、町並みの近代化や変容は進んでいます。
- ・今後は、歴史的風致を損なわないように建築物の新築、改築、増築等に際しては、**景観計画で定められた景観形成基準（その内容は参考資料に記載）に加え、歴史的風致維持向上の観点からも建築物等の意匠デザインをコントロール**するとともに、必要に応じて道路等の**公共施設の修景整備**を進めることが望まれます。

### ⑤ 城下町関連地区

- ・当該地区は城下町ではありませんが、現在の町の形や土地利用、町並み・景観等の視点から見て、城下町の歴史的風致の維持向上を図る上において密接不可分の地区と言えます。したがって、この地区においても歴史的風致に十分配慮した保存、活用を基本とするまちづくりが必要です。
- ・**名証グラウンド整備**は、これから始まる具体的なまちづくりですし、整備区域の面積も約4haと規模も大きく、**城下町に対して大きな影響を及ぼす**と考えられます。名証グラウンドは犬山城天守から眺めることができる貴重な緑地空間であると同時に、山の上にそびえる城の天守を豊かな桜並木越しに眺めることができるすぐれた視点場でもあります。その整備にあたっては、この**特徴的な眺望景観に十分配慮した整備**とすることが必要です。
- ・**木曾川河畔地区**は川の渡しや木曾川上流から流された木材を筏に組む集荷場としての歴史を有しています。また、名勝にも指定され優れた自然景観を有しています。こうした歴史と自然が調和した木曾川の景観は、木曾川に面して聳える山上に城を配置した犬山城下町の大きな特徴です。更に、当該河畔地区の一部は城下町の北の入り口にあたる名鉄犬山遊園駅と犬山城下町を結ぶ地区でもあることから、**歴史と自然が調和した景観の維持や向上**を積極的に図ることが必要です。
- ・また、当該地区に隣接して国宝如庵（茶室）及び有楽苑（和風庭園）が存するとともに、この地区の近傍には犬山城の山門が移築されている瑞泉寺、犬山城主成瀬家の墓所である臨溪院が存し、これら寺院も犬山城や城下町の歴史を物語る重要な要素です。

## 第6章 短期的な今後の取り組みについて

(例)

- 犬山市体育館の移転
- 犬山市福社会館の移転
- 名証グラウンドの利活用
- 犬山城の国史跡指定                    等